



富士遠望

北穂高岳から直線距離にして約14.2キロ。富士山の朝焼けです。北穂高岳へは高地から登りはじめ、途中小説「氷壁」（井上靖作）で有名な徳澤園に一泊。翌日いつきに頂上へ。「氷壁」はナイロンザイル事件を題材にしたもので、犠牲者は鈴鹿の岩稜会会員であり、事件を説明されたのも兄であり、会の会長でもあった石岡繁雄さん。山に登ってその偉業に思いを馳せていました。

JRPP三重支部 菅谷秀昭

市民が社会を動かす時代——憲法を生かし、平和と暮らしを守る世論と運動を広げていきましょう

鈴鹿市日本共産党後援会 会長 谷口 茂

あけましておめでとうございます。
ことしもよろしくおねがいします。

■昨年の総選挙での日本共産党へのご支援、ご協力ありがとうございました。

議席を後退させたことはたいへん残念ではありますが、市民と野党の共闘では希望の党による突如の逆流と分断、共闘破壊の動きを乗り越え、つぎにつながる重要な成果をあげたと考えます。

総選挙での自民党の得票は有権者全体のわずか17%にすぎず、国民多数が安倍政権を信任しているわけではありません。小選挙区制のトリックによる虚構の多数で、安倍首相がなんでもかんでも強引にすすめることが許せるのでしょうか。

北朝鮮問題でもアメリカいいなり、軍事一辺倒がきわだつ安倍政権が9条改憲につきすすめば、日本、アジアと世界にはかりしれない危険をもたらすことになりかねません。改憲の国会発議に反対する3000万署名など憲法を守る運動をすす

めていきましょう。くらしの願いも切実です。医療・介護など社会保障費を削減する弱いものいじめの政治は許せません。

■どうすれば、暴走政治にストップをかけ、国民のこえにこたえる政治を実現できるでしょう。

参議院選挙、総選挙でたしかな力を発揮してきた市民と野党の共闘を国民のみなさんとともにもっと発展させていくことにこそ、安倍政権を終わらせ、野党連合政権を実現していく道があるのではないのでしょうか。わたしたち、共産党後援会もそのために力を尽くしたいと思います。

そして共産党を応援しようという人々が、参加しやすい後援会活動へと思い切って改善し、発展・強化をはかっていけるよう努力したいと考えています。ともに、がんばりましょう。





2018年の抱負

女性が変れば社会が変わる

女性後援会長 磯山 真柄真知子

女性後援会、にぎやかにお食事会！

伊船町 石田喜代子



私が共産党のファンになったのは20歳の時。かつてモノ言えぬ時代に、命をかけて戦争に反対した政党があった。それが日本共産党だっ

た！という事実を知ったときの衝撃を覚えています。そして私の「共産党愛」がますます強くなってきました。昨年の衆議院選挙は、私たち女性も大いに力を発揮して応援しました。その力を選挙の時だけでなく継続していけたら、もっと大きな力になるのではと改めて女性後援会を再起動させよう！というつもりになりました。みんなで知恵と力を持ち寄り、元氣の出る楽しい会を軸に、憲法9条を守れ、原発反対、生活のできる年金を等々の世論を大いに盛り上げる役割を果たしたいと思えます。「女性が変れば、社会が変わる」今年も鈴鹿に共産党あり！！の風を大いに吹かせたいと思います。（最後に私事ですが、今年は「年女」。この1年「笑う犬」でありたいと思います。）

12月14日、喫茶JCP（共産党、鈴鹿の事務所）で女性後援会は参加者25名で、にぎやかにお食事会をしました。

「真ことに、柄でもないですが・・・」という真柄さんのユーモアたっぷりのお挨拶で、お食事会の開始。3人の市議の挨拶・議会報告のあと、お待ちかねのお食事は、カレー、2種類のサラダ、揚げ物、ゆず大根、デザート

にコーヒーと多彩なメニュー。どれも、おいしくてみんな大満足でした。お腹がいっぱいになったところで、一言コーナー。順番に自己紹介を含めて、何でも言いたいことを話してもらいました。最後にみんなで元氣に歌を唄ってお食事を終えました。

「ここ何年か女性後援会はあるけれど、役割分担はきまっておらず、選挙の時だけ召れ？」と、選共産党のことをまわりの人にもっと好きになってほしいと話し合いました。「おいしいね。毎月もお食事会をしたいね。」という声に背中を押されて、2月15日（木）喫茶JCPで2回目のお食事会をします。女性のみなさん、どうぞお越しください。



ありがとう、みなさん

上野町 加藤正美



新年おめでとうございませう。

新年も大晦日も寒い日も暑い日も家に届きます。「アカハタ」の時も「しんぶん赤旗」の今も。有難うございます。軽四、単車（夏は）などマイカーで来られる。思い浮かべますと、あの人もこの人も明るいんですなあ。強いんですなあ。立派なんですなあ。視野広く寛大。去年一年を自分について振り返ってみると、何にもできていません。新聞を見て「市民と野党の共闘さらに」「身を挺して民主主義を守った」など、新聞記事に大喜びしてただけでした。年齢が増えて、体の部品が傷んできたことを「せい」にしてばかりいかなかったかと、反省。「安倍首相こそ国難」（きらら250号）と市民の会の山本さんの叫びが聞こえてきます。六年前の老眼鏡を新しくしました。乱視を矯正して。自分なりに頑張りまします。よろしくお願いたします。

「継続は力」保育環境を良くして未来を 明るくと、市・県・国に声をあげて・・・！

保育後援会 市川祥子



今回は県へ「子どものための予算を大幅に増やし、安心して保育・学童保育の実現を求め、三重県保育団体連絡会から30人ほどの保育士、保護者が集まり、11月13日、県との交渉を行いました。一時保育については今は年齢に関係なく何百人単位で粗雑な少額の補助金となっている。年齢、人数に応じた補助金にしてほしい。

・新制度になって、日曜保育は保護者負担はなくなったはずなのに、(保育料が発生しなくなったかわりに代休日必要)地域によっては未だに保護者負担しているところがある。(伊勢とか亀山)等々、次から次へと現場から切実な要望が出されました。

県からは課長と班長が出席しましたが、去年と担当者が一変した上にいろいろなことが伝わっていないのか「調べておきます」「勉強しておきます」との返答が多かったです。ただ私たちの話



じっくりと地域に溶け込む

南部後援会 糸柳章司

3日前のこと。町内のAさんの奥さんが、早朝訪ねてこられ、「主人が折り入って話を聞いてもらいたいと言っているので、拙宅までお越しいただけないか」とのこと。何かと思いつながら午後に向う旨約束した。

話の内容は、「昨日、自治会の組長がやってきて、いきなり、『来年度はお宅が組長の番になっているのでよろしく』とのこと。突然のことであり、びっくりして『高齢だし、数年來糖尿病を患っており、とても任に堪えられない』と断ったところ『そんなことは困る、何としても引き受けてもらわんと』の一点張り喧嘩別れとなった。しかし、自治会を抜け

で、これから近所付き合いをどうするのか悩み、誰かに相談を考えた結果『糸柳さんあなたのことを思いついた』とのことだった。1時間程度で終わるつもりが、辞去する時はとつぷり日が暮れ外は真っ暗であった。自治会のあり方、近所付き合い(Aさんは引越してきて3年ちよつと)のこと、果ては何れ夫婦で老人ホームに入るつもりということなど、たんぼぼのことなど話が弾んだ。

終わりがけに、なぜ私に相談をと尋ねたところ「市議選の時、共産党候補者の支持を訴えられその真剣な話っぷりに感じ入った。その後、共産党後援会ニュースなど読ませてもらい信頼できると思った」とのこと。リップサービスもあるかも知れないが、こんな形で自宅に招き入れてくれ、いっぱい話してくれたことがうれしくて、この地に住んで30年ほどだが、こんな付き合いができていなかったことに気付かされた。自分の活動もこのスタイルをもつともっと進めねばと感じたことである。

今年、私も齢八十を迎えるがまだまだ元気だ。選挙のない年らしいが、じっくりと地域に溶け込む活動ができればとひそかに思う。今日この頃である。





はしづめ圭一の

はじめの一步

歩一歩

月日のたつのは本当に早いもので、この春で丸3年がすぎ4年目に入ります。皆さんのご支援に感謝しつつ、日々元気に活動させていただいています。

市議会定例会は年4回開会されますが、議案審査とともに一般質問は必ず行ってきました。質問と答弁を合わせて45分間ですが、その準備には、構想、資料集め、行政からの聞き取りと、何日もかかります。

この間に取りあげたテーマは次の通りです。詳細はブログに載せてますので皆さんのご意見・感想をお寄せください。高齢者の生活交通は4回取りあげ、実現めざして歩んでいます。

さて、今年は何を取りあげるか？テーマについてもご意見くださるとうれしいです。生活相談などもお気軽に電話ください。今年も、歩一歩と歩みます。

(鈴鹿市議会議員 橋詰圭一)

- 2015年 6月：高齢者の生活交通①
- 9月：白子駅前雨水排水、
高齢者の生活交通②
- 12月：国民健康保険（一般財源補てん）、
高齢者の生活交通③
- 2016年 3月：津波防災・避難訓練
- 6月：公民館等のトイレ改修、
地域づくり協議会推進、
人権尊重のまち
- 9月：図書館サービスの向上と改革、
土地開発公社の所有地
- 12月：介護保険「新総合事業」
- 2017年 3月：マイナンバー、
国民健康保険（賦課と収納）
- 6月：高齢者の生活交通④
- 9月：生活保護行政
- 12月：公共下水道経営



2017年7月沖縄・辺野古テント村と瀬長亀次郎「不屈館」



森川ヤスエの

こころに夢を

心に夢をのタイトルは「未来社会論に希望を抱いて」つけた

私は共産党の活動をすることで、人間社会の素晴らしさを夢見るようになりました。それは誰もが「自分らしく生きられる」「みんなが幸せになる」「お金の心配なく生活ができ、学びが保障される」「戦争のない社会で平和に暮らす」ことができる社会の実現です。政治が変われば必ず実現できることを確信したことが、私を強くそしてあきらめない心を育てているように思う。

スウェーデンの福祉にあこがれて視察を夢見ていたが、スウェーデンはなかなかツアーに上らず、デンマークとドイツのツアーに参加させていただいて、実際にヨーロッパ社会の政策に触れて、日本共産党の打ち出す政策は一部ヨーロッパでは当た

り前の事実なんだと嬉しかった。日本にその実態が伝わらないだけだと思うとその方が不思議でした。

先日支部会議で未来社会論を議論して、私が見てきたドイツやデンマークの実態、中満泉さんの本からスウェーデンの状況などを紹介して、社会主義の入り口のような社会だねと話合っていたら、「社会主義のその入り口だけでもいい」という声が出てきました。これからもっともっと議論を深めて、未来社会への展望を心に秘めて、「社会主義の入り口のような社会」へ早くたどり着きたいものです。

(鈴鹿市議会議員 森川ヤスエ)



ドイツの市立施設特別養護老人ホーム個室の様子。部屋にはトイレとシャワー室が完備、広くてきれいです。ベットは床ずれ防止、そして介護が楽なようにリフトも備えてあります。



石田 秀三の かけある記

市議会の行政チェック 機能が問われている

市議会12月定例会で、体育館など18カ所のスポーツ施設の今後5年間の管理運営を、市外の民間企業グループに任せる議案が、反対18、賛成12で否決されました。市議会に提案された議案が否決されたのは、2002年の「四日市市との大合併」議案以来の出来事で、新聞各紙にも大きく報道されました。

この問題の経過は以下のとおりです。

現在、体育館などの管理運営を行なっている鈴鹿市体育協会に、市は今回も引き続き管理を任せるために「非公募」にする予定であった。しかし、有識者による「選定委員会」は「公募」にせよと答申したので、市は方針転換した。そして応募した2者・市体協と民間グループを審査した結果、民間グループの方が体協より評点0.5点の僅差で決定した。

このような経過をたどって市議会に出された議案に、各議員・各会派から賛否両論がたたかわされ、22日の本会議・採決で否決（共産党市議団も反対）という結論になったのです。

地方自治体は、市長と議員がそれぞれ選挙で選ばれる「二元代表制」の下で、議会は市長がすすめる行政をチェックする役割を持っています。今回の議案否決は、議会がチェック機能を果たしたと言えます。しかし、このような事態は10年に1度もありません。むしろほとんどの議案・予算がそのまま可決されているのが実態です。この12月議会でも、「上下水道の料金値上げ」案が、反対は共産党の3人だけで可決されてしまいました。こっちの方が問題だと私は思います。市民の代表である議員が、もっと市政のチェックをしっかりすることが求められています。

(鈴鹿市議会議員 石田秀三)



12月17日
鈴鹿シテイマラソン大会に出場

写真

稲生西 堀川東洋志さん

走り初め



アサギマダラ

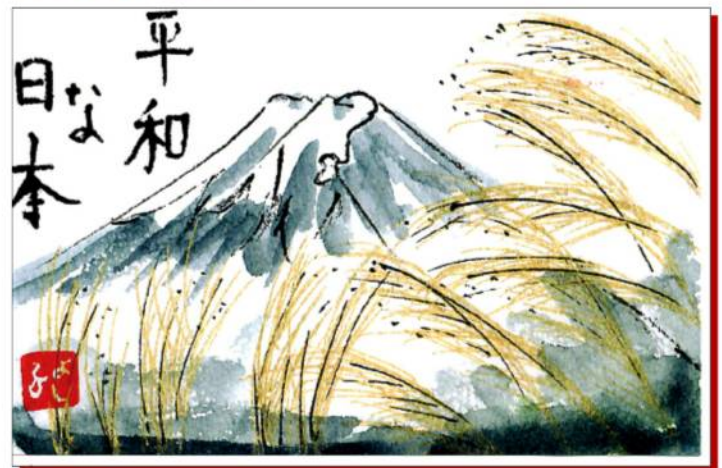
2000kmもの長距離を移動する蝶。この蝶はなぜ渡りをするのか？青少年の森に群生するヒヨドリバナにやってきた。きっと台湾に帰る途中だ。

鈴鹿青少年の森にて



絵手紙

国府町 宮崎ヨシ子さん



山とともに生きる

郡山町 山下久美子

「山はすばらしい！」私の今の生きがいです。退職して、したいことを考えて見たら、やっぱり山でした。社会のお役に立つわけでもなく、まったくの自分の趣味です。でも習い事とは、少し違うと思っています。第二の人生を歩むに価するぐらい、時間とお金を使っています。

山は一人ではなるべく登りません。危険と隣り合わせだからです。おかげですが、命がかかっています。それだけに、装備や学習が必要です。楽しいことばかりではありませんが、登り切ったときの喜びは、何物にも代えがたいです。

新シリーズ 私の趣味 ①

山はいろいろな顔をもっています。優しく迎えてくれる時もあれば、機嫌が悪く、厳しい時もあります。同じ山に登ったとしても、登山道が違えば、全く違う山に思えるし、春夏秋冬、出会う景色もそれぞれ違ってきます。だから、私は、低山であれ、日本アルプ



剣岳にて

スであれ、どんな山もいいと思っています。みんな個性があり、同じ山は一つとしてありません。私は、特に、山での花の出会いを楽しみにしています。すぐに、花の名前は忘れてしましますが、かわいく可憐です。命いっぱいに咲き誇ります。疲れて足が動かない時に、励ましてくれます。

体力は歳とともに落ちていきますが、現状維持を保つために、一年に百日の登山を目標にしてみました。無理はしません。長く楽しみたいので。

また、鈴鹿山岳会に入り、今年、若い頃からの夢だった穂高縦走と剣岳に登ることができました。感無量です。自然保護の活動や、登山道整備や市民登山のボランティアもしています。去年、ネパールに行き、田部

井さんが、エベレストに登った時の写真を見ました。エベレストに登頂した人の記念館があるのです。田部井さんの意志の強さ、優しさ、山への愛など、学びたいことが一杯でした。震災の復興支援で高校生に富士登山を始めました。素晴らしい方です。私も、山を通して社会とつながっていきたいですが、まだまだ、力がありません。



キヌガサソウ



チシマリンドウ



槍ヶ岳

私のおすすめ 簡単レシピ



さつま芋入りチーズ

自由ヶ丘 桑原千香子



- (材料) さつま芋 中1本
 クリームチーズ 1箱 (200g)
 砂糖 60g
 卵 1個
 生クリーム 1箱
 レモン汁 小さじ1杯程度
 バニラエッセンス 少々

(作り方)

①さつま芋は皮をむき、1センチぐらいのさいの目

- 切りにし、水にさらしてから電子レンジにかけて箸がささるまで加熱する
 ②クリームチーズは柔らかくなる程度に電子レンジにかけ、砂糖・生クリーム・卵・レモン汁・バニラエッセンスの順によく混ぜる
 ③焼き型に薄くバターを塗り、さつま芋を底に敷き詰めて②を流し込む
 ③180度で30分焼く



【編集後記】 多くの方のご協力で2018年・新春号を発行することができました。谷口後援会長は「共産党を応援しようという人々が、参加しやすい後援会活動へと思い切って改善し、発展・強化をはかりたい」と書いています。後援会だよりがその一助になればと思います。みなさん、今年もたくさん原稿を寄せてくださいな。 (よ)